

研究・調査報告書

報告書番号	担当
374	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
Martial status and cardiovascular risk in French and Swedish automotive industry workers – cross sectional results from the Renault-Volvo Coeur study フランス、スウェーデンの自動車産業労働者における婚姻状態と循環器危険因子	
執筆者	
L. Kumlin, G. Latscha, K. Orth-Gomer et al.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Journal of Internal Medicine 2001 ; 249 : 315-323	
キーワード	
循環器危険因子、French paradox、婚姻状態、心理社会因子	
要 旨	
<p>(目的) フランス、スウェーデンの自動車産業労働者における婚姻状態 (既婚/同棲、離婚、未婚) 別の循環器危険因子の状況を明らかにする。</p> <p>(方法) フランス、スウェーデンともに健診結果と質問票を用いた断面調査を実施した。ルノー (フランス北西部の労働者) とボルボ (スウェーデン南西部の労働者) の産業保健の一環として行った。1993年に45-50歳の男性をルノーから1000名、ボルボから1000名の無作為抽出した。フラミンガムリスク指標およびコレステロール、血圧を測定した。また、婚姻状態、喫煙、運動、飲酒習慣、職場ストレスについて、また個々の社会支援状況、Bortner スケールによるタイプ A 行動について自己申告情報を用いて評価した。</p> <p>(結果) ボルボと比較すると、ルノーの方がより多く結婚または同棲しており、離婚や未婚は少なかった。ボルボの未婚男性のウエスト/ヒップ比が著しく低かった以外は、両集団の既婚者と離婚者との間には、循環器疾患危険因子の状況 (総コレステロール、血圧、フラミンガムリスク指標) に有意な差はみられなかった。</p> <p>既婚男性もしくは同棲している男性と比較して、未婚男性は喫煙率がルノーとボルボの両方で高かった。未婚男性はタイプ A 行動は少なく、仕事の裁量権や職場での支援が少なく、親しい友人が少ない結果であった。アルコール消費は既婚もしくは離婚男性に比べ、未婚ボルボ労働者で少なかった。既婚男性もしくは同棲している男性と離婚男性はフランス、スウェーデン両国内で比較してもすべての項目で同じような結果を示した。</p> <p>(結論) フランス (ルノー) とスウェーデン (ボルボ) 両国の自動車会社で働く未婚男性労働者は、既婚男性や離婚男性と比較して、生活習慣や社会ネットワークに関係する伝統的でない循環器疾患危険因子が増えていた。ルノーよりもボルボ労働者に独身者が多いことを加えたこれらの結果から、ボルボ労働者の方が循環器疾患に関してハイリスクであると示唆された。この仮説は5年後、10年後の追跡研究で評価される予定である。スウェーデン独身男性で虚血性心疾患罹患率がより高率になれば、French paradox を説明できるかもしれない。</p> <p>件注 : French paradox とは、フランス人はヨーロッパで最も多くの肉やアルコールを消費するのにも関わらずフランス人の平均寿命がヨーロッパで最も長いのはなぜか、という問題。</p>	